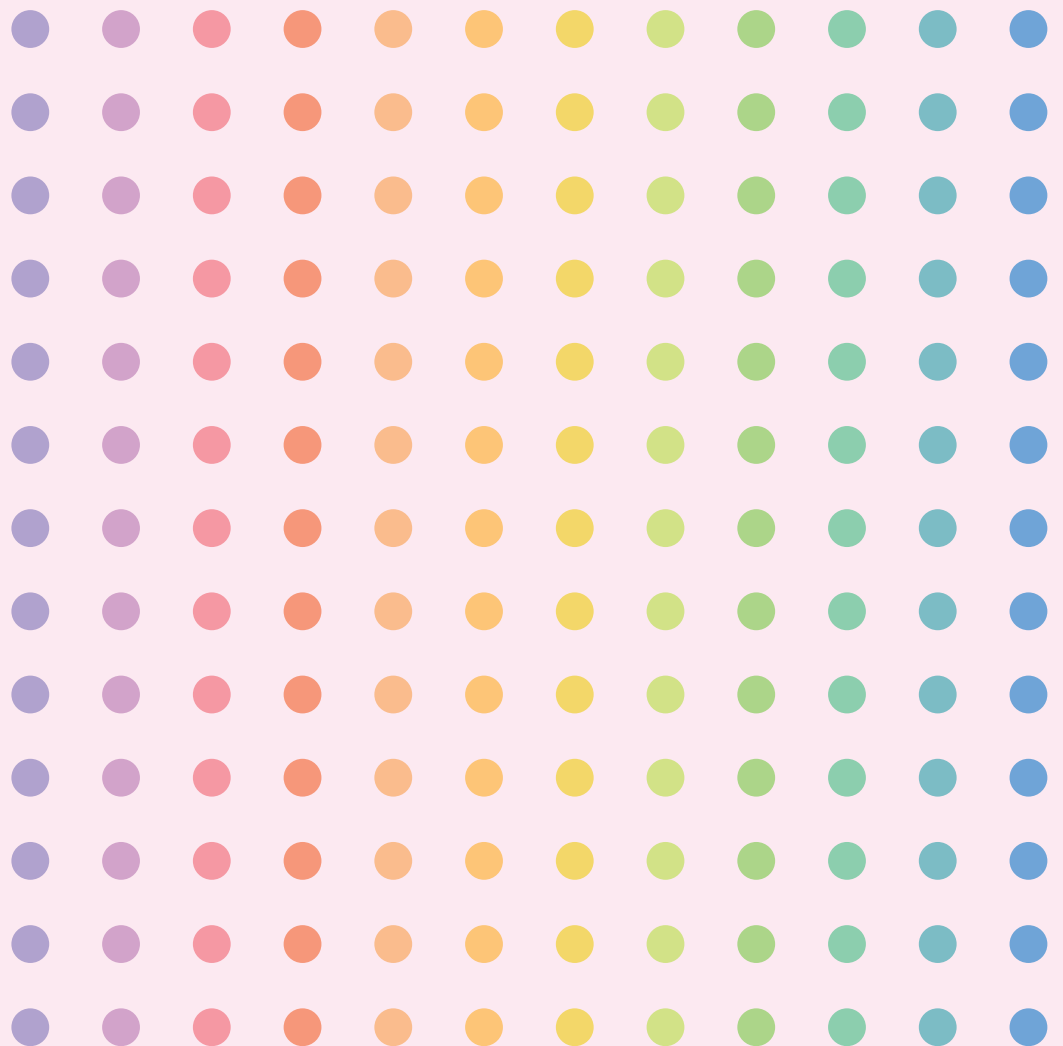


NARA CHUO SHINKIN BANK REPORT 2019.9



多様な顧客サポート力を“深化×進化”させ、地域内における存在感・信頼感の向上を目指します。

当金庫は昭和23年の創業以来「常に地元の皆さまと共に、地域の発展に貢献する。」という理念の下、協同組織の金融機関として、主に預金と融資を通じて社会的役割を果たしてまいりました。また、金融サービスの提供以外にも、地域社会の一員としてCSR(企業の社会的責任)活動にも積極的に取り組んでおります。こうした永年にわたる実績の積み重ねで得た、地域の皆さまからの信用・信頼は、目には見えない形ではありますが、当金庫にとって何物にも代え難い大きな財産となっております。

平成30年度から第10次3か年計画「ちゅうしんサポート力深化×進化2018」をスタートさせました。これからも地元を知り尽くした地域のベストパートナーとして、何かあれば、まず「ちゅうしん」とお客様から言っていただけますよう、地域から選ばれる信用金庫を目指して、役員一同真摯に取り組んでまいりますので、今後も、変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

地域社会の再生・活性化をめざして

地域が活性化することが、ちゅうしんの願いです。

《中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況について》

ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度

起業・新規事業展開を目指す奈良県内中小企業の応援団として、地域経済の活性化に向けての取組みを一層強化することを目的に「ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度(愛称:グッドサポート)」を平成20年6月に創設、今年で12回目を迎えることが出来ました。毎年県内全域のたくさんの企業、団体からエントリーを頂いております。

また、この助成金制度創設、運営、審査に関して奈良県をはじめ外部関係諸団体との連携を強化し、各団体からの協賛、協力を得ております。



回数	応募先数	助成先数	助成総額	グッドサポート大賞テーマ
第1回(平成20年度)	83先	11先	900万円	部分非伸縮ニット技術による新規原料の事業化
第2回(平成21年度)	77先	7先	500万円	国内初の耳鼻科用検体採取機器の商品化
第3回(平成22年度)	79先	9先	700万円	高性能・レアメタルフリー積層型圧電アクチュエータの開発
第4回(平成23年度)	92先	9先	710万円	革新的高速混練造粒機の電池業界への製造・販売
第5回(平成24年度)	105先	9先	710万円	新しい紙おむつ廃棄用テープの開発
第6回(平成25年度)	97先	10先	810万円	発泡ウレタンを含まないフラップホイールの開発事業
第7回(平成26年度)	118先	10先	780万円	医療機器(構成小物)の新規加工技術構築
第8回(平成27年度)	93先	10先	810万円	ファクトリー化による贈答品市場の需要獲得
第9回(平成28年度)	117先	10先	810万円	業界初がん新治療法のための発熱インプラントの試作開発
第10回(平成29年度)	111先	12先	1,010万円	高度医療機器・分析器材用に必要な超精密部品製造システムの構築
第11回(平成30年度)	137先	10先	600万円	「靴下編機用針折れ検知システム」の開発による革新的サービス体制の確立
計	1,109先	107先	8,340万円	

特別協賛

- 奈良県

協賛

- 国立大学法人奈良女子大学
- 公立大学法人奈良県立大学
- 奈良県中小企業診断士会
- 奈良県商工会連合会
- 奈良経済産業協会
- 国立奈良工業高等専門学校
- (公財)奈良県地域産業振興センター
- 奈良県商工会議所連合会
- 奈良県中小企業団体中央会

審査委員会

- 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
- 国立大学法人奈良女子大学
- 国立奈良工業高等専門学校
- (公財)奈良県地域産業振興センター
- 奈良県産業振興総合センター
- 奈良新聞社
- 公立大学法人奈良県立大学
- 奈良県中小企業診断士会
- 奈良中央信用金庫

お取引企業へのサポート活動

当金庫のお取引企業で構成された異業種交流、研鑽組織である「ならちゅうしん経営研究会」および「ちゅうしんビジネスクラブ(略称CBC)」を中心に経営サポートを行っています。

ならちゅうしん経営研究会
(昭和63年発足 会員企業数39社)

企業経営に役立つセミナー、視察等も実施しています。

ならちゅうしん経営研究会では様々な経営課題について月例会で検討、研修や視察等を実施しています。今年で31年目を迎え、例会回数も通算330回を超えるなど、同研究会の歴史を物語っています。

ちゅうしんビジネスクラブ
(平成3年発足 会員企業数368社)

お取引企業のニーズへの対応、問題解決にお客様と一緒に取り組んでいます。

お取引企業からの各種相談やニーズに対し専門の知識を有した職員が親身に対応すると共に経営、金融、税務、IT、事業承継等に関するタイムリーな情報提供も行っています。また、経営者の皆さま向けのセミナーや講演会、経営者の興味向けの視察研修も好評です。

※会員相互のビジネスパートナー探し、販路の拡大等を目的として、ちゅうしんビジネスクラブ専用のホームページを開設しています。

<http://www.shinkin.co.jp/businessclub/index.html>

ちゅうしんサポートステーション
(平成17年設立)

お客様から選ばれる金融機関として、様々な顧客ニーズに的確に対応することを目的に平成17年に設立しました。

当金庫では、ビジネスフェアや商談会の開催によるマッチングのみならず、イントラネット掲示板システムを活用して、営業担当者が聴取した「販路を広げたい」「仕入先を探したい」「専門家に相談したい」...といったお客様のニーズを繋げることで、経営課題のスピーディな解決に努めています。

近畿経済産業局「知財ビジネスマッチング事業」の活用

当金庫では近畿経済産業局が実施する「知財ビジネスマッチング事業」に参画しております。本事業は大企業の保有する開放特許等を活用し新製品開発や新事業展開へと繋げるため、技術力を有する中小企業に対し、大企業の技術等(シーズ)の紹介

や大企業とのマッチング機会を提供する事業です。

今年度には、これまでの取組が身を引き取引先企業2社と大企業とのマッチングに成功し、令和元年8月23日にライセンス契約発表会を開催しました。



知財ビジネスマッチング事業報告会

半期情報の開示について

当金庫の令和元年度(2019年度)「経営の透明性」の確保を目的に、

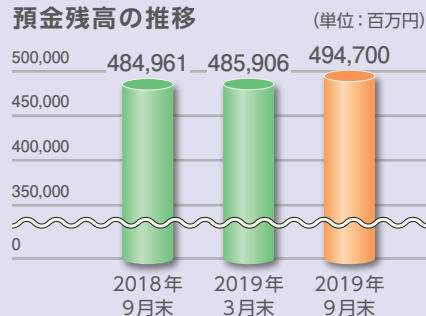
預金・貸出金の状況

預金は、年間増加額が97億円、
貸出金は、34億円とともに堅調に増加しました。

預金

年金振込口座の獲得増強などにより、普通預金が110億円増加するなど、個人預金を中心に好調に推移しました。お客様が当金庫の健全性を高く評価していただいたことによる「信頼の証」でもあると思っております。

預金残高の推移



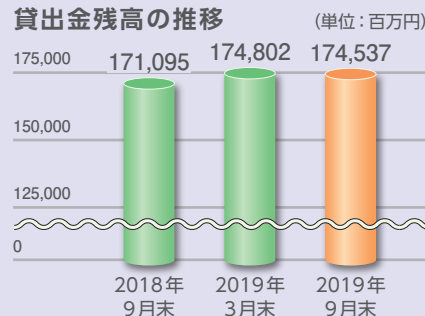
(単位:百万円)

区分	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末	年間増減額	年間増減率
預金残高	484,961	485,906	494,700	9,738	2.00%

貸出金

中小企業や個人等のお客様のニーズに応じ円滑な資金供給に注力した結果、貸出金は堅調に推移しました。

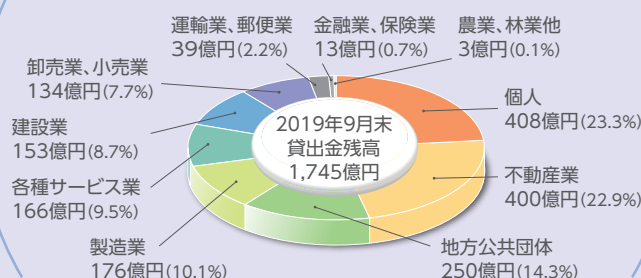
貸出金残高の推移



(単位:百万円)

区分	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末	年間増減額	年間増減率
貸出金残高	171,095	174,802	174,537	3,442	2.01%

業種別貸出金内訳



収益の状況

厳しい経営環境の中、3億95百万円の
当期純利益を確保できました。

超低金利が続く厳しい経営環境ではありましたが、資産の健全化を図りつつ、当期純利益は3億95百万円を確保しました。

上期収益状況

(単位:百万円)

区分	2018年9月期	2019年9月期	増減額	増減率
業務純益	655	515	▲140	▲21.35%
コア業務純益	544	513	▲30	▲5.63%
経常利益	643	564	▲78	▲12.19%
当期純利益	428	395	▲33	▲7.90%

有価証券の時価情報

安全性を重視した効率的な運用が基本スタンスです。

お客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元へのご融資のほか、安全性を重視し、慎重かつ効率的な有価証券による運用を行っています。

■ その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

区分	2019年3月末					2019年9月末				
	時価	帳簿価額	評価差額		時価	帳簿価額	評価差額			
		うち益	うち損				うち益	うち損		
その他有価証券	202,749	199,461	3,287	4,352	1,065	195,585	191,038	4,546	5,739	1,193
株式	3,276	3,336	▲60	177	237	2,938	2,919	18	290	271
債券	93,548	91,864	1,684	1,693	9	82,711	81,340	1,371	1,376	5
その他	105,924	104,260	1,663	2,482	818	109,934	106,779	3,155	4,072	917

(注) 1.「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2.上記の「その他」は、外国証券、投資信託、その他の証券です。

■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

区分	2019年3月末	2019年9月末
	帳簿価額	帳簿価額
子会社・子法人等株式	—	—
非上場株式	181	181
非上場その他の証券	1,105	918
合計	1,286	1,100

■ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券で時価のあるもの、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの…該当ありません。

上期の業況等についてお知らせいたします
 今後も積極的な情報開示に努めてまいります

自己資本(比率)の状況

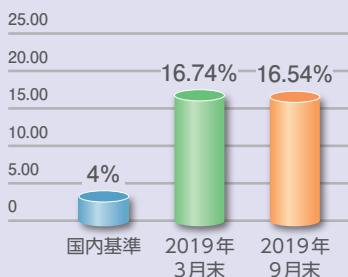
着実に利益を積み上げ、自己資本額は360億円、
 自己資本比率は16.54%と、引き続き健全な水準となりました。

自己資本比率は、金融機関の健全性を判断する重要な指標で、当金庫の16.54%という数字は、ちゅうしんの財務体質が、健全であることの証明です。

なお、自己資本額(※)は360億22百万円となっております。

※主に、創業以来70年間に亘って、毎年計上した利益等をコツコツと積み上げたものです。

自己資本比率の推移



自己資本の構成

(単位:百万円)

項目	2019年3月末	2019年9月末
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	35,535	35,928
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	408	400
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	35,943	36,329
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	74	88
前払年金費用の額	224	219
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	299	307
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	35,644	36,022
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	205,084	210,058
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	7,722	7,722
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	212,807	217,780
自己資本比率((ハ)/(ニ))	16.74%	16.54%

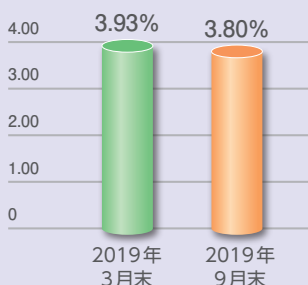
不良債権の状況

不良債権に対する備えは万全です。

当金庫ではかねてより資産の良質化に取り組んでおります。令和元年9月期の不良債権額は、前期比2億42百万円減少し、66億74百万円(金融再生法ベース開示債権額)となりました。その結果、不良債権比率は、0.13%低下し、3.80%となりました。

なお、償却とともに適正な引当を実施しており、厚い内部留保とあわせて当金庫の不良債権に対する備えは万全であり、当金庫の経営に及ぼす影響は全くありません。

不良債権比率の推移



金融再生法ベースの債権区分による開示

(単位:百万円)

項目	2019年3月期	2019年9月期
金融再生法ベースの債権区分の不良債権(A)	6,916	6,674
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,450	1,583
危険債権	4,246	3,971
要管理債権	1,220	1,119
保全額(B)	5,657	5,647
貸倒引当金(C)	1,416	1,507
担保・保証等(D)	4,240	4,139
保全率(B)/(A) (%)	81.79%	84.61%
担保・保証等控除後債権に対する引当率(C)/((A)-(D)) (%)	52.94%	59.48%

(注)貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

注記

このレポート作成に際しましては、原則として本決算と同様の方法で数計の集計を行っております。但し、令和元年度上期末の償却・引当額は「金融再生法ベースの債権区分による開示」における簡便方法による自己査定結果を反映させ、当金庫の基準により計上しております。

地域社会の活性化に貢献できますよう、積極的にさまざまな活動に取り組んでいます

NPOやボランティア団体のサポート

- **「NPOローン」** (平成12年創設)
全国の信用金庫として初のNPO法人向けの融資制度です。
- **「なら・ちゅうしん基金」** (平成13年設立)
役員個人と信用金庫本体からのマッチングギフト方式で拠出金を積み立て、各方面の社会貢献に役立っています。
- **「なら・みらい創造プロジェクト」** (平成15年創設、24年リニューアル)
奈良NPOセンターと協働で奈良を元気に活性化するコミュニティファンド“なら・未来創造基金”を平成15年に創設し、23年度までの9年間に57団体に対して、1,300万円の活動資金や研究資金をサポートしてきました。平成24年度からは奈良県の地域貢献サポート基金のスキームを活用し、地元のNPOやボランティア団体を応援する「なら・みらい創造プロジェクト」として実施、毎年5つの団体に各々20万円をサポートし、平成15年度からの通算で17年間に97団体に2,100万円をサポートしています。
※「なら・みらい創造プロジェクト」の原資は「なら・ちゅうしん基金」で賄われています。
- **「なら・ソーシャルビジネスコンテスト」**への参画 (平成23年度～)



第8回「なら・みらい創造プロジェクト助成金贈呈式」(村井副知事)(高田理事長)

令和元年度助成団体

- 特定非営利活動法人 奈良国際友好交流協会 Nakamaro
- 特定非営利活動法人 うちの館
- 特定非営利活動法人 市民活動サークルえん
- 特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会
- NPO法人 飛鳥トレッキングガイドサービス

地域行事・まちおこし行事

- **「田原本ぎおん祭り」** (毎年7月)
- **県内各市町村、商工会等のイベントへの協賛・協力** (通年)

環境保護・リサイクル

- **「グリーンキャンペーン」** (平成16年度～)
全店から多くの役員が休日に集まり、地域の市・町への感謝の気持ちを込めて支店所在地の周辺地域の清掃活動を実施しています。
- **再生可能エネルギーの普及促進** (平成26年度～)
再生可能エネルギーの普及を目指す(一社)地域未来エネルギー奈良の活動に賛同し、太陽光発電施設への出資や人的参画も行っています。平成30年12月には二号機も稼働しています。
● 恋の窪未来発電所@ならコープ 平成30年度年間発電量 58,258Kwh
- **川上村での植樹活動** (平成27年度～)
吉野川の源流にある川上村が取り組んでおられる水源環境保全事業に協力し、当金庫の役員が大滝ダム周辺の白屋地区に山桜や紅葉など十数種類の幼木を植樹。県内の水源保全・景観保全のための地域貢献活動を展開しています。
※この植樹活動の原資は「なら・ちゅうしん基金」で賄われています。
- **「使用済み切手の収集」** (通年)
- **「クールビズの実施」** (毎年5～10月)



チャリティー

- **共同募金協力型の飲料自動販売機の設置**
- **チャリティーコンサートの開催** (平成3年より)

6月の「信用金庫の日」に時期をあわせ、地元のホールにプロの音楽家を招きコンサートを開催。

令和元年度は、チャリティー募金を「奈良県社会福祉協議会」と「橿原市社会福祉協議会」へ寄贈しました。



「チャリティー募金贈呈式」
左／奈良県社会福祉協議会・中常務理事
中／当金庫・高田理事長
右／橿原市社会福祉協議会・岩田常務理事

カルチャー

- **「ちゅうしんカレッジ講座」** (例年11月)
今回で27回目を迎えた「ちゅうしんカレッジ講座」は、フリーアナウンサーの山本浩之氏をお招きし、大盛況となりました。(令和元年11月12日)

最近の講師

竹田 恒泰 氏 (平成30年度講師) 間 寛平 氏 (平成29年度講師)
角 淳一 氏 (平成28年度講師) 辰巳 琢郎 氏 (平成27年度講師)

障がいのある人たちへの支援

- **奈良県内の特別支援学校等との交流推進**
・生徒さんが当金庫ボランティアクラブのグリーンキャンペーンに参加 (平成24年～)
・生徒さんが「ならちゅうしん経営研究会」総会の受付を担当 (平成25年～)
・生徒さんのアート作品展を本店ロビーで開催 (平成25年～)
- **岸本亜矢子さん** (県立明日香養護学校卒) など、障がいのある方のデザインを顧客向けサービス品に採用しています。(平成8年～)
- **県内の特別支援学校の生徒さんの美術作品を一堂に集めた「キラリと輝く! 特別支援学校アート展」**に特別協賛しています。(平成27年～)



特別支援学校アート展2019開会式

- **第22回「信用金庫社会貢献賞」会長賞を受賞** (令和元年)
特別支援学校の生徒さんと当金庫の役員との交流、協働が評価され、信用金庫社会貢献賞の最高の荣誉である「会長賞」を受賞しました。



「信用金庫社会貢献賞」会長賞の楯



当金庫では信用金庫社会貢献賞を3度受賞。

その他

- **全役職員が認知症サポーター養成講座を受講** (平成23年度～)
- **「あいサポーター研修」を受講** (平成25年度)
- **令和元年度「不当要求防止責任者講習」の実施** (令和元年10月8日)
反社会的勢力への取組強化の一環として警察関係機関と連携して営業店長を対象とした「不当要求防止責任者講習」を実施しました。これまでの受講者数は延べ412名となりました。

令和元年度上期の主なできごと (2019年4月～9月)

- 4.1 「ちゅうしん後見支援預金」の取扱いを開始しました。
- 4.17 お取引企業を対象に新入社員セミナーを実施しました。参加人数:25名
- 4.22～23 檀原支店で「開店10周年お客様感謝デー」を開催しました。
- 5.16 ちゅうしんビジネスクラブ「管理者養成セミナー」を実施しました。参加人数:38名
- 5.30 ちゅうしんビジネスクラブ「IT導入補助金活用セミナー」を実施しました。参加人数:25名
- 6.3 夏の定期キャンペーン「夏トク定期2019」を発売しました。
- 6.15 第27回ちゅうしんチャリティーコンサートを開催し、その募金を6月20日に「奈良県社会福祉協議会」と「檀原市社会福祉協議会」へ寄贈しました。
出演:PYLON(パイロン)、1966カルテット(写真①)
- 6.18 第70期通常総代会を開催しました。
- 6.19 第22回「信用金庫社会貢献賞」会長賞を受賞しました。
受賞活動名:「特別支援学校との交流・協働」(写真②)
- 6.25 ちゅうしんビジネスクラブCBC企業視察(桑原鑄工(株)／桑名市)を実施しました。
参加人数:70名
- 7.1 「3信金連携スピード保証」及び「桜井納税協会会員向け保証制度」の取扱いを開始しました。
- 7.13 NPO法人奈良不動産専門家協会との共催による「不動産無料相談会」を開催しました。
- 7.17 ならちゅうしん経営研究会総会を開催しました。また、総会受付の仕事を養護学校の生徒さん2名に手伝っていただきました。
- 7.20～21 田原本ぎおん祭で「ちゅうしんの夕べ」と「ちびっこ広場」を開催しました。
- 7.23 次世代の経営者を対象に「第六期ちゅうしんビジネススクール」を開講しました。
- 7.24 第8回「なら・みらい創造プロジェクト」の助成5団体が決定し、助成金の贈呈式がありました。
- 8.1 振り込み詐欺等防止用の簡易型自動録音機「録音チュー」の進呈を開始しました。
- 8.5～14 キラリと輝く「特別支援学校アート展2019」に特別協賛しました。
- 8.19 檀原市と「よい仕事おこしフェア実行委員会」が包括連携協定を締結しました。
- 8.19～24 「特別支援学校と病院を結ぶアート展2019」に特別協賛しました。
- 8.23 「2019年度知財ビジネスマッチング事業報告会(ライセンス契約発表会)」実施しました。
- 8.30 高田理事長が近畿ブロック暴力団追放功労者表彰を受賞しました。
- 9.2 第12回ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度「グッドサポート」の募集を開始しました。
- 9.11～20 年金受給者を主な対象に一泊二日「ワクワクバスツアー(静岡県方面:焼津黒潮温泉)」を実施しました。(写真③)



① 6月15日
チャリティーコンサート
(出演:PYLON(パイロン)、1966カルテット)



② 6月19日
「信用金庫社会貢献賞」会長賞受賞



③ 9月11日～20日
ワクワクバスツアー(静岡県方面:焼津黒潮温泉)

外部機関によるCSRの評価

・同じ事業で複数回受賞しているものは最新の年度を表示(※印)しています。

● 全国信用金庫協会

- ・ちゅうしんNPOローンの創設:信用金庫社会貢献賞 特別賞(平成14年)
- ・なら未来創造基金の創設:地域再生しんきん運動優秀賞(平成17年)
- ・特別支援学校との交流・協働:信用金庫社会貢献賞・会長賞(令和元年)

● 奈良県地域温暖化防止活動推進センター

- ・ヒマラヤ桜の植樹:地域環境貢献賞・匠の知恵(平成21年)

● 近畿財務局

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度:地域密着型金融顕彰(平成21年)

● 地域再生大賞実行委員会

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度:優秀賞(平成24年)

● 奈良県

- ・なら・みらい創造プロジェクト:社会貢献活動に対する感謝状(※令和元年)

● 奈良県社会福祉協議会

- ・チャリティーコンサート:チャリティー募金に対する感謝状(※令和元年)

● 公益社団法人なら犯罪被害者支援センター

- ・チャリティーコンサート:チャリティー募金に対する感謝状(※平成30年)

● 日本金融通信社

- ・長年にわたる障がい者支援活動:2016年度ニッキン賞(平成29年)

とってもオトクでベンリな「ちゅうしんのキャッシュカード・ICキャッシュカード」
当金庫のキャッシュカード・ICキャッシュカードを当金庫のATMで利用(入出金)された場合

ATMは、1年365日年中無休で終日手数料0円

